

活動テーマ

知ろう、広げよう、私たちの未来につなげよう！

実践事例について

愛北小の子どもたちは、身の周りの豊かな自然や環境を守ろうとする地域の人たちや施設とつながって体験活動を行ったり、地域の福祉施設と協力して学習したりしている。自分の生活をふり返り、家庭でも実践できる活動へと取組を広げている。

1 学校環境

本校は、鈴鹿の山々を背にし、田畑や果樹園の広がる農村地帯に位置する。近くに湖東三山の一つ「百済寺」があり、歴史と豊かな自然に囲まれた学校である。

地域の産業は兼業農家が多く、地域の地形や気候を生かした、ぶどうや梨等の果樹栽培が盛んに行われており、本校児童もその栽培の一端を、実際に畑に行き、学習させてもらっている。

また、愛東地区が発祥となった「菜の花エコプロジェクト」は全国的にも有名である。環境に配慮しながら安全で安心な農作物を作る「環境こだわり農業」などの推進に力が注がれている。現在では、あいとうエコプラザ「菜の花館」を拠点として、資源循環型の地域づくりが活発に進められている。

2 実践事例

(1) 全校 恵美須溜での自然学習、ごみ回収活動

全校児童が縦割り班で校区にある恵美須溜まで歩く「はとのこ遠足」を実施した。これは、学校から約2km離れた恵美須溜の畔で、異年齢交流や環境に関する学習、清掃活動をするもので、具体的には

① ネイチャーゲーム

② ごみ回収活動 を行った。

①については、指定された恵美須溜周辺の植物を探してまわる活動を行った。

②の活動は、ため池の喫水域を周回しながら、釣り糸や釣り針、空き缶やビニール袋などを回収するもので「子どもたちが掃除をするようになって水鳥が釣り糸や釣り針で命を落とすことが少なくなった。」との、地域の方の感謝の声にも支え

られて、意欲的に取り組んでいた。



また、びわこの日には全校で校庭の除草作業に取り組んだ。



(2) 学年の主な活動

ア 3年生 びわ湖の池での

カワバタモロコ飼育

校地内にある「びわ湖の池」で、かつて西日本各地で生息していたが現在東近江で2カ所のみが生息地となった固有種であるカワバタモロコを飼育している。近年アメリカザリガニが増え、カワバタモロコにとって環境が悪化している。そこで、よい環境の中でカワバタモロコを生育させるため、池の水を抜き、カワバタモロコをいったん水槽に移し、ザリガニ等を駆除した後、来春にカワバタモロコのみが生育する池にしようとしている。



イ 4年生 梨栽培と観察

地域の梨農家の方から、梨の木を借り受け、児童が受粉を体験し、花や実の観察、実験、摘果等を行った。また、果実の収穫は近隣の幼稚園、保育園児との交流でも行った。



ウ 6年生 大気の調査とケナフ栽培

6年生は、地球規模の環境問題について学習し、地球温暖化などの原因となっている大気の変化について調査をした。校区内の空気の汚れを調べるために、松の葉の気孔を観察した。また、気体検知管を使い、比較しながら調査をした。愛東の大気を少しでも浄化させるためにケナフを栽培し、12月に親子活動で紙漉をした。漉いた紙が卒業証書となる。またその後、幼稚園児、保育園児と紙漉をし、交流を深めた。



(3) 環境委員会の活動

環境委員会では、全校にエコ活動と呼びかけ、年間を通して、中休み・昼休み中の節電や節水と呼びかけるなど、自主的な点検活動を行い、全校にエコ意識を高めてもらえるようにはたらきかけを行った。

また、全校のみんなに協力してもらえよう、各学年の教室にペットボトルキャップ入れの箱を置いて収集を呼びかけた。集めたペットボトルキャップは、地域の福祉施設「あいとう和楽」に寄付し、福祉活動に役立ててもらっている。



3 成果と課題

それぞれの活動が児童に浸透しているため、今までの活動を知る6年生の子どもたちが4月から主体的に活動を進めていくことができる。その活動が次年度の6年生への興味、関心を高めることにつながっている。また学習の中や家庭生活の中での会話などを通して、子どもたち自身が環境に目を向けることや省エネ・省資源を意識し、自分たちの手で実践していこうという思いにつながっている。今後も深化させ、よりよい体験活動を探っていききたい。

「エコな暮らし」は、ESDにつながり、これからの未来に生きる子どもたちには必要不可欠な学びである。今年度の活動をふり返り、子どもたちとともに課題を明らかにし、次年度に生かしていきたい。そして、これからの暮らしの中で、さらにPDCAサイクルを意識したより主体的な学習に努めていきたい。



| | |
|--------|----------------------------|
| 学校名 | 東近江市立愛東北小学校 |
| 住所 | 東近江市百済寺本町1399番地 |
| 電話番号 | 0749-46-0588 |
| E-mail | aikitasho@higashiomi.ed.jp |